

開館 5 周年 特別企画

いわむらかずお絵本原画展

“雑木林のファンタジー”



「14ひきのびくにつく」(童心社刊)より

会期

1995年4月21日(金) ▶ 5月21日(日)

開館時間

9:30~17:00 <毎週火曜日休館・5月2日(火)は開館>

入館料

大人700円 中・高生400円 小学生300円



軽井沢絵本の森美術館

KARUIZAWA MUSEUM OF PICTURE BOOKS

〒389-01 長野県北佐久郡軽井沢町塩沢182-1 TEL0267-48-3340

主催●軽井沢絵本の森美術館 後援●(社)日本国際児童図書評議会、長野県教育委員会、軽井沢町教育委員会、信濃毎日新聞社、NHK長野放送局、信越放送、長野放送、テレビ信州、長野朝日放送

★サイン会 5月13日(土) 13:30~14:00・15:00~15:30

いわむらかずお絵本原画展

“雑木林のファンタジー”

「タンタンのハンカチ」(偕成社刊)のためのラフスケッチ



“カケス”のスケッチ



開館して5年目を迎えた軽井沢絵本の森美術館。

今まで海外の絵本に親しんでいただくことを念頭にいろいろな作品を紹介してきました。

そして、皆様のおかげにより無事現在まで活動してこれてきました。

そこで、今回特別企画として、日本で今最も人気のある絵本作家の一人 いわむらかずお氏の原画展を開催することとなりました。

これまでに多くの賞を受賞し、その絵本は欧米やアジアの国々でも翻訳され、たくさんのお子もたちに親しまれています。

今展では、タンタンシリーズ、14ひきのシリーズなど広く知られている絵本の原画のほかに初期の絵本作品、スケッチや仮に作られた本(ダミー本)など絵本として完成する前の段階のものもご紹介いたします。

「私の中のイメージの世界は、益子の雑木林の中で子どもたちとの暮らしと重なり合いながら、ひとつひとつの場面として確かなものになっていった。」(『14ひきのアトリエ』より)と語っておられるいわむら氏。雑木林の中で生まれたファンタジーをここ軽井沢の雑木林の中でお楽しみください。



「トガリ山のぼうけん」(理論社刊)の一場面(上)と、そのラフスケッチ



「トガリ山のぼうけん」(理論社刊)より



<プロフィール>

いわむらかずお (1939~)

東京都足立区に生まれる。

1964年東京芸術大学を卒業、コーセー化粧品デザイン課に入社。

1970年より絵本作家としてスタート、タンタンシリーズ、こりすのシリーズ、

そして14ひきのシリーズとこれまでに多くの作品を発表。

絵本にっぽん賞、小学館絵画賞、サンケイ児童出版文化賞など数々の受賞歴を持つ。

1975年より栃木県益子町に在住、創作活動を続けている。